

令和6年度2回愛媛県がん診療連携協議会がん相談支援専門部会

Web会議 議事録

令和7年1月16日（木） 13:30～15:00

出席者 (42名)	NPO 法人愛媛がんサ ポートおれんじの会	松本	愛媛県庁健康増進課	田坂
	愛媛大学医学部 附属病院	塩見、古川	愛媛県立中央病院	濱田、箱岡、武田
	松山赤十字病院	中田、山本、松野、 門田、高橋	済生会今治病院	松岡、西部
	市立宇和島病院	黒田、川中、大久保	四国中央病院	高木、濱田、脇
	市立八幡浜総合病院	高橋、菊池	愛媛労災病院	田中
	HITO 病院	楠瀬、守屋	十全総合病院	松本
	済生会西条病院	大谷	済生会松山病院	藤原、平岡
	西条中央病院	松尾、森賀		
	住友別子病院	和田、山地、高橋、大西		
	四国がんセンター	羽藤、長谷部、岸田、福島、大西、関木、高橋		
事務局	四国がんセンター	武智（事務担当）		

I. 報告・協議事項

1. 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会情報提供・相談支援部会報告

（第23回11/21 オンライン配信）

福島 美幸（四国がんセンター）

資料 p.1～p.20

- ・情報支援・相談支援部会の在り方について 部会運営委員会の発足とピアサポーター養成と活動の場創出に関する好事例の共有についての2点が大きな話題であった。
- ・運営委員会については7月に国協議会にて提案され、設置については特に指摘なく、自薦他薦にて7名の委員（管理者から3名、実務者から4名）が決定した。がん専門病院から四国がんセンターから福島が選出され今後2年間携わることになるため、是非、愛媛だけでは解決困難な課題等をあげていきたいと考えている。前回の部会事前アンケート（第22回情報支援・相談支援部会）では、『今後、全国で足並みをそろえて取り組みたいこと、共通資材として作成したいこと』として「フィードバック体制」において、全国で統一した内容を、数年に1回程度の全国調査やオンラインで収集できる仕組みを用意するといった体制づくり等が上位にあがっている。今後、国の動きとしてとりあげられていく可能性がある。
- ・第4期がん対策基本計画の3つめの施策である『がんとの共生』の中に拠点病院等と民間団体やピアサポーター等との連携、ICTや患者団体、社会的人材リソース等を活用した相談支援の充実が挙げられている。このことから本部会でピアサポーター活躍の場創出の好事例として、山形県

の取り組みの共有があった。昨年には、ピアサポーター応援キャラクター『ピアにゃん』も誕生し毎月22日がんサロンの日としている。2017年に県の委託を受けて健診センター内に山形県がん総合相談支援センターを開設しているが、がん相談窓口も保健師や看護師が主にに関わりながらピアサポーターの養成とがんサロンの開催と病院への派遣を実施している。

2020年までの3年間は外部講師に依頼して講座を開催していたそうだが、講師の熱心な言葉から「自分には無理だと感じた」、「場違いだと感じた」等といった意見からピアサポーターの退会が続いていた。こうした状況を受け、コロナ禍以降には2021年度に実施したアンケートの回答にあった「傾聴に徹したい」「進行やまとめには自信がない」といったピアサポーターからの意見をくみあげ、基礎研修の内容を見直している。ポイントは、「傾聴や共感」丁寧な言葉のキャッチボールへのプロセスを強調し演習を繰り返し実施するものとした点である。また、継続研修（現地研修）では、他県のピアサポーターが運営するがんサロンの視察やがん総合支援センターでのサロンに参加し、基礎研修以降の学びが意図的に実践できる機会を設けている。ピアサポーター間および、がん専門相談員との連携あるいは協働がピアの自主的な活動支援に大きく影響し、相互支援が活動拡大に発展している。また、研修内容の変更に加え、サロン進行役をがん総合支援センターや病院のスタッフが担うように変更された以降は、退会者がいないとの報告があった。

拠点病院の指定要件では、「がん患者及びその家族が心の悩みや体験等を語り合うための患者サロン等の場を設けること。その際には一定の研修を受けたピアサポーターを活用する、もしくは十分な経験をもつ患者団体と連携して実施するように努めること」とあり、愛媛県においても県内の拠点病院において、ほぼすべての病院が愛媛県ピアサポーター養成研修を修了されたピアサポーター派遣事業をうけてがんサロンを開催している。サロン担当者意見交換会にピアサポーター派遣事業元の愛媛がんサポートおれんじの会の松本氏達にも参加していただいているが、地域で活動されているピアサポーターの方々とがん相談員との交流があると、病院とピアサポーターの役割分担や協働可能なことなど各機関の特色を生かした取り組みが検討できる機会になると感じた。

- ・施設別がん登録件数検索システムについて案内があった。このシステムは愛媛県においては四国がんセンターの相談支援センターに連絡いただければ検索して情報提供が可能である。登録しているデバイスも1台と限定されているため、検索に時間を要することもあるが、是非活用していただきたい。希少がんを含むすべてのがん種で利用可能となっている。また、症例件数に関する情報公開についてもがん情報サービスの院内がん登録全国集計結果閲覧システムで検索可能となっている。こちらは自由に閲覧可能となっているため、一度アクセスをしてもらいたい。
- ・『国立がん研究センター認定がん相談支援センター』として、四国がんセンターは認定を受け、今年度更新した。認定を受けた相談支援センター同士の交流会がオンラインサロンで開催されており、情報共有する機会となっている。ぜひトライしていただきたい。

2. 「若年がん患者在宅療養支援事業」、「小児・AYA世代のがん患者の妊孕性温存療法研究促進事業」、「ウィッグ及び胸部補正具購入費助成事業」、等の県内動向について

田坂 慎太郎（愛媛県健康増進課）

資料 p. 21～ p. 29

○若年がん患者在宅療養支援事業について

令和5年度の利用実績は5市町。今年度、周知に向けた新たな取組みとして、県内訪問介護サービス事業所約460箇所チラシを配布した。令和6年度の利用実績は年度末にならないとわからないが、現時点で複数市町から連絡があり、効果が出ているのではないかと感じているので、来年度以降も継続していきたい。

○小児・AYA世代のがん患者の妊孕性温存療法研究促進事業について

今年度の予算額は360万円。昨年度の補助実績は7件約140万円。今年度は現時点で7件約105万円とまだ余裕がある状況。令和7年度予算は編成中で確定していない状況だが、今年度と同額の360万円を確保したいと考えている。また、精子凍結の上限額は2万5千円だが、妊孕性温存療法を行う病院とがんの治療を行う病院の両方から証明書が必要となり、その金額と手間を考慮すると、補助対象となっているのにあえて申請しないということもあると聞いている。更に、事業を担当していて、全体的に治療に要した金額に対して補助の割合が少ない傾向にあると感じており、国の意見照会があった際、実現するかどうかはわからないが、こうしたことを改善するようお願いしている。

○ウィッグ及び胸部補正具購入費助成事業について

今年度第1回の専門部会の際、7市町で実施されているとお伝えしたが、その後3市町が追加となり、現在、10市町で実施されている。県HPに実施市町のリンクをまとめているので活用いただきたい。

(福島)

抗がん剤による脱毛予防のための頭皮冷却装置(クーリングキャップ)について情報共有をした。抗がん剤投与前から頭皮を冷却し、頭皮の血流を低下させることで、毛根に対する薬剤のダメージを減少し、脱毛の予防と脱毛後の回復 再発毛を早める効果があるものである。愛媛県内の各助成制度を実施している市町に確認してみたところ、鬼北町と上島町は頭皮冷却キャップ関連用品も対象とするとの情報を得ている。四国中央市と伊予市は検討中だが、その他の市町は今年度は対象外との回答であった。助成金の上限もあるため、ウィッグ購入費で上限に達する方も多いかと思うが、ウィッグは安いものを購入し、10万近く自費が必要となる頭皮冷却関連物品をその差額に充てて利用したいと思う方もいるかもしれない。県内でパックスマンの頭皮冷却療法を導入しているのは四国がんセンター、愛媛大学医学部附属病院、市立宇和島病院と把握している。そのほかの施設で導入している病院があれば教えてほしい。相談員が、患者等へ対象としているかどうかの市町の情報をお伝えするのはよいが、対象としていない市町も今後要望が多い場合は検討していくとのことであるため、希望する患者さんの声は市町に届くようにしていく必要があることを共有した。

3. 愛媛県がん対策推進計画に掲げる本県独自の取組みの進捗状況について

田坂 慎太郎 (愛媛県健康増進課)

資料 p. 30~34

昨年3月に策定した愛媛県がん対策推進計画において、新たに本県独自の取組みを4項目掲げた。そのうち「がん患者の就労継続に向けた支援の充実」「高校生が療養中も切れ目なく教育を受けられる環境の整備」の2項目が相談支援に係るものであり、進捗状況を説明した。

○がん患者の就労継続に向けた支援の充実

企業に対するアンケート調査を今年度中に実施し、取りまとめる予定。皆様にも結果を共有させていただく。

○高校生が療養中も切れ目なく教育を受けられる環境の整備

令和7年度予算は編成中の段階だが、高校生に対する遠隔教育を支援する事業を考えている。具体的には、病室の患者が教室に設置したロボットを操作して自由に見たい角度に調整できるテレプレゼンスロボットに加え、タブレット端末、プリンタ、Wi-Fi 端末を整備し、所属高校を通じて貸し出すもの。高校は県立・私立を問わない。がん以外にも、病気やけがで長期療養中の方を対象とすることを考えている。事業が始まれば、皆様にも患者さんやご家族への周知にご協力をいただきたい。また、現時点で、もし、遠隔授業を受けることを希望しているが学校側との調整に難航しているケースがあれば、教育委員会への取次ぎを行うので、田坂までご連絡いただきたい。

4. がんサポートサイトえひめの周知について

大西 明子（四国がんセンター）

- ・がんサポートサイトえひめの概要について周知した。病院ごとに診療数などのデータは毎年の現況調査結果を反映しているが、各病院の取り組みについては随時変更可能である。修正や変更があれば事務局まで連絡をお願いしたい。
- ・2024年のデータは更新済み。2025年の調査票は6月頃に送付を予定している。
- ・リンパ浮腫の医療資源調査をもとに、リンパ浮腫のページを修正、更新した。リンパ浮腫関連の資格は非常に複雑なため、今回は各施設の取り組みを掲載することで対応した。
- ・都道府県協議会の役割として、希少がんの診療体制についての情報整備が求められている背景があり、希少がんのページについても作成準備を進めている。
- ・現在、GISTから取り組みはじめており、原案はできている。近日中に各病院の取り組みについて情報収集予定。肉腫や中皮腫なども順次取り掛かる予定である。
- ・拡大ワーキングは、開催要旨が決定次第案内を予定しているため、参加いただきたい。
- ・若尾班による都道府県がん情報サイト構築支援については、今のところ進展はないようだが、何か動きがあれば報告、共有予定。

5. 都道府県がん各ワーキングからの報告、次年度計画

1) 相談員研修 WG

福島 美幸（四国がんセンター）

資料 p. 35～41

・開催報告

2024年度情報支援研修地域展開版 愛媛開催 ウェブ開催のみ

【2024年11月9日（土）13時00分～17時00分 ホスト会場：四国がんセンター】

国がんの情報支援研修地域版「講師派遣」事業に応募して採択されたものになり、四国での持ち回り開催の最終回となった。講師には和歌山医療センターの西山さんの派遣をいただきGWのファシリテーター・サブファシリテーターに愛媛県の研修WG コアメンバーと高知県、香川県、徳島県の相談員に協力いただき15名の運営スタッフで実施した。受講者23名の内訳は愛媛県内10名、県外13名、看護師6名、MSW16名、心理士1名であった。

受講者の約6割の方が研修初回受講やがん相談員経験5年未満であり、配置異動や地域がん

支援病院の指定を受けて受講するきっかけとなったことが要因と推測できる。受講後のアンケートでは、参加者の満足度においてほぼ全員から満足したとの回答を得ることができた。今後の展望にもあるように、本研修は「がん情報サービスやガイドラインを使って相談対応をしてみよう」と参加者の多くが思える研修会となった。情報支援に必要な情報整理、情報収集だけではなく、情報支援をするために相談員に必要なスキルや相談支援のプロセスについて振り返る機会となったため、今後も継続して開催していける方向で検討していきたい。参加されていない方は、ぜひアンケート結果をご参照いただき次回以降に積極的な参加をお願いしたい。

2) 広報活動 WG

大西 明子（四国がんセンター）

資料 p. 42～ p. 45

①フィードバック体制の活動について

- ・2024/12/12 令和6年度第2回フィードバック体制についての意見交換会を実施。各施設から相談対応の改善点や課題についての取り組み報告、他県での取り組みなどについて共有した。
- ・次年度も共通のアンケート項目を含めて、各施設でアンケートを実施し、情報共有する。
- ・第1回専門部会でアンケート結果の共有ができるように各施設でアンケートを実施する。
- ・この2年でフィードバックを得る体制と、協議会での情報共有をする体制は整ったので、今後はフィードバック結果を相談対応の改善や相談の質向上につながるような議論をしていく

②がんサポートブックえひめについて

- ・12月にサポートブックえひめの増刷希望調査を行い、6施設から850部の発行希望があった。印刷業者に見積依頼したところ、1冊あたりの単価がかなり高額だったため、増刷はしないこととなった。
- ・発行に合わせて病院一覧の修正を予定していたが発行を見合わせたため、既存の冊子に病院一覧の訂正表を添えて配架、配布してほしい。病院一覧(案)をメール送信するので、修正や変更がないかを確認していただきたい。
- ・今後のがんサポートブックえひめの発行については、次年度のワーキングで検討したい。

3) チェックリスト WG

和田 美恵子（住友別子病院）

資料 A3 PDCA チェックリスト 2024（回答まとめ）

・新愛媛版チェックリスト実施報告

今年度は2023年に国立がん研究センターより提示されたPDCAチェックリスト2023修正案をもとに愛媛県のチェックリストと統合し、相談員項目および管理者項目を明記したチェックリストを用いて評価した。チェックリスト修正案は令和4年8月に示された整備指針を踏まえ管理者に働きかける（評価を依頼する）ものとし、病院全体で患者を支えるための体制を整備するために新しく管理者項目が設けられた。

例年同様に昨年11月末各施設でチェックリスト評価の実施し提出されたが、自施設の取り組みが客観的に可視化して把握できる機会となっており、有用性が高いと思われた。しかしながら所属機関によっては機関の概要や相談支援担当者の交代等による相談員経験不

足から継続性のある具体的かつ実効性のある取り組みには繋がらない場合もあることが推測られるため、部会として課題を共有し、質保証、質向上できる相談支援の提供に取り組む必要があると考えられる。

・2025年1月20日(月)15時～WG 予定

4) サロン担当者 WG

関木 裕美 (四国がんセンター)

資料 p. 46～48

・サロン担当者意見交換会開催報告【2024年10月21日(月)13時30分～15時00分 Web】
令和6年度がんサロン担当者の交流会をオンラインで開催した。

各病院サロンの取り組み状況について工夫した点、課題、ピアサポーターとの連携について共有した。まだまだコロナの影響で、入院患者さんの参加が困難、参加人数が増えないなどの課題を抱えている施設があったが、他施設が新たに取り組んでいるテーマが参考になり、SNSを活用した広報など新たなことを取り組んでいくことを考える機会になった。

愛媛がんサポートおれんじの会 松本氏より県からの委託で作成した『がん患者さんのための災害に備えるリスト』について情報提供があり、各病院へ配布していることの共有があった。

今後もサロン担当者同士で情報交換できるよう、年に1回10月頃にサロン担当者の交流会の開催を予定している。次年度は地域で活動されているピアサポーターの方々との交流についても取り上げて計画したい。

6. 協議事項

1) 愛媛県内の各施設における就労支援状況の共有について 羽藤 慎二 (四国がんセンター)

先日、労働局で愛媛県のハローワーク等の出張相談を実施している施設や県、商工会議所と労働局間で話をする機会があったが、各医療機関内における就労相談の実際はどうなっているのか？共有する場があるとよいのではないか、それらの中から愛媛県内での課題等を取り上げることができればよいと思う。

⇒(住友別子病院)新居浜市には住友グループ関連の会社が多く、罹患と同時に会社がサポートしている状況があると考えられ、傷病手当金の申請等といった制度の相談が多い。

(市立宇和島病院)高齢者のがん患者が多いため、就労相談自体がそんなに多くないのが現状だが、少なからず相談がないわけではないので他施設の取り組みも聞いて学べるとよい。

(羽藤部会長)地域性から就労支援の取り組みも特徴があるようなので、「がん相談員研修 WG」で次年度以降のどこかで共有から学びの機会としてほしい。

2) (おれんじの会 松本)

都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会情報提供・相談支援部会報告時に、愛媛県でもサロン担当者意見交換会に、地域で活動されているピアサポーターの方々との交流についての提案があったと思うが、ピアサポート派遣をしていない病院での患者会等ピアのみなさんの活動を知りえることで、相談に来られた患者・家族へ情報を伝えやすくなると思う。ぜひ、担当者意見交換会に呼びかけていただけるよう検討を希望する。⇒サロン WG で検討する。

II. その他

1. 2024年度愛媛県災害時連絡シミュレーション実施について 羽藤 慎二（四国がんセンター）
資料 p. 49～54

- ・シミュレーション実施【8/19（月）～21（水）】に行った。

施設が松山市：被災地、他市町：周辺地域

その後、現在もがん情報サービスの災害時のページにてシミュレーション時の情報が掲載されている。再度確認画面と入力方法について周知を行った。次年度も国がんの了承が得られれば本年同様実施したい。

2. 議事録担当表 資料 p. 55

西条中央病院を追加する旨承認を得た。

3. 各施設から周知事項 資料 p. 56～58

- ・希少がん GIST（消化管間質腫瘍）セミナー in 四国 1/18（土）13時30分～15時30分
ハイブリッド開催 会場：四国がんセンター 暖だん

4. 次回専門部会開催予定について

- ・全体報告会（決定）令和7年2月15日（土）11時～12時ウェブ開催
- ・令和7年度 第1回専門部会・全体報告会（候補日）令和7年7月5日（土）、12日（土）集合

議事録担当：十全総合病院（次回は四国中央病院）